



2021年4月

第310号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 花輪 宗命  
副会長 山本 英次  
書記 長谷川あや子  
会計 小口 多津子  
直前会長 並木 信一  
担当主事 中里 敦  
プリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 重子

国際会長 Jacob Kristensen(デンマーク) 主題 価値観、エクステンション、リーダーシップ スローガン「命の川を信じよう」  
アジア太平洋地域会長 David Lua(シンガポール) 主題:「変化をもたらそう」  
スローガン:「奮い立たせよう」  
東日本区理事 板村 哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化を楽しもう」  
副題:「助け合い、分かち合い」  
あずさ部部長 御園生 好子(東京サンライズ) 主題:「変わるに挑戦!」  
クラブ会長 花輪 宗命 主題:「すべてに感謝」

### 巻頭言

#### コロナ禍中のワイズ活動

長谷川あや子

十勝での第23回東日本区大会が万止むを得ず中止になったときには新型コロナウイルスの感染がここまで拡大するとは思っていませんでした。緊急事態宣言後、すべての活動が停止状態となりスティホームを余儀なくされました。八王子クラブでは最も大きなCS活動であるチャリティコンサートが中止、あずさ部の評議会も中止、公共の施設も使用停止となりクラブのメンバーとも会うこともままなら

#### 4月例会プログラム

##### 北野事務所—2階

(担当: C班 : 並木信一、茂木稔、大久保重子、山本英次)

日時: 4月10日(土) 18:00~20:00

司会: 並木信一

開会点鐘	会長
ワイズソング 一番のみ	一同
ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジターの紹介	会長
聖書朗読・祈禱	並木 信一
東京 YMCA 報告	担当主事・中 里
Happy パースデイ (久保田貞視さん)	会長
スマイル	山 本
連絡事項	会長
	各担当
閉会点鐘	会長

#### 先月の例会ポイント (3月)

在籍	13名	切手(国内・海外)	40g
メン	10名	累計	1647g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	77%	累計	0円
メネット	2名		
ゲスト	3名	スマイル	0円
Zoom参加者		累計	86,773円
ビジター	11名	オークション	0円
ひつじぐも	1名	累計	0円

ない状態となりました。誰しもが不安な中、当時の会長、並木さんの素晴らしいご配慮で、八王子城跡傍らのガーデンカフェ「海の塔」で2019年度最後の例会が開かれたの

#### 今月の聖句 (2021年4月)

天使は女たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを探しているのだから、あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。それから、急いで行って弟子たちにこう告げなさい。『あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にカリヤヤに行かれる。そこでお目にかかれる。』あなたがたにこれを伝えます。  
(新約聖書・マタイによる福音書 28:5~7)

は暗闇に燭光を見た思いでした。爽やかな青空の下、閑静な庭園でオーナーの心温まるおもてなしを受けての会食は、数カ月の閉塞感を吹き飛ばし「ワイズ万歳」といった一日でした。

2020年度、八王子クラブは7月キックオフ例会、8月直前会長感謝会も細心の注意を払いながら会場で一堂に会することが出来ましたが、東日本区では役員会や委員会をはじめ様々な活動がオンラインで開催されるようになり、そのうち各クラブでも Zoom を取り入れるようになりました。あつという間の浸透でした。中央大学では授業はすべてオンライン、学生の課外活動は禁止ということで、八王子クラブとの交流も中断されましたが、何とか例会に Zoom 参加して頂けないかと模索が始まりました。そして並木真さん、担当主事の中里さんのお力を得て、ハイブリッド例会に挑戦し、10月は「種と野菜の話をしよう」、11月は「球磨村災害支援報告」の卓話を会場と Zoom でお聴きすることが出来、ゲスト、ビジター、ひつじぐもの参加を得たことは画期的で嬉しいことでした。2月第二例会は初めて Zoom で開催、3月13日は本来ならチャリティコンサートの日でしたが中止となったため急遽3月例会とし、石巻広域クラブの清水弘一メンに「東日本大震災から10年」の卓話をお願いし、ゲスト3名、ビジター11名、ひつじぐも1名を交えての一大 Zoom 例会となりました。

この一年、庭園の中での新旧会長交代式、今は淡路島にお住いのクラブの生みの親である奈良さんとお話も出来た Zoom 例会など思いがけないこともありました。コロナ禍であってもワイズスピリットを見失うことなく、皆で助け合って活動していきたいと思えます。

### ひつじぐもの「追い出しコンパ」に出席して

小口多津子

3月9日(火)の夜に、中央大学学Yひつじぐもの今年の卒業生を送る会、「追い出しコンパ」が開かれました。例年は、立川駅や京王線沿線の飲み屋で、賑やかに開かれるのですが、今年はこのコロナの渦中であって初めての ZOOM となりました。

出席者は、卒業される4年生を中心に、在校生、昨年はコンパも中止だったのでその時の卒業生と、サークル主任の酒井由美子先生。OBは、藤永君、大熊君が出席され、大先輩の白羊会からお2人、私達クラブからは花輪会長、並木(信)さん、長谷川さん、久保田さん、小口の5名で総勢25名位でした。よく準備されたプログラムで、司会の渡辺さんが流れるように進めていきました。始めにこの1年間の活動報告がされ、この大変な年に存分に活動が出来ず、深刻だったことそれでも新1年生をしっかり繋ぎとめておいたとのこと、とても心に響きました。卒業生の弁、送る側の言葉、私達のお祝いの言葉など、画面越しに1人1人の表情が見えたことはとても良かったと思えました。サークル主任の酒井先生は、ご自身のメッセー

ジの最後に、「社会の中へ入っていくということは、この卒業がスタートになるのですよ」と、4年間の重みを一言で締めくくられた言葉には、学生への愛情が溢れていました。

ついこの間、わくわくビレッジでの新入生歓迎会などで自己紹介していた彼らがもう卒業とは、この早い流れに驚きしかありません。

私達が何年も続けてきた八王子駅での街頭募金やチャリティーコンサート会場での作業に、これまで卒業された方々には、どんなにお世話になったことでしょうか。私達の仲間になってこの時は華やかで若い声がひびき渡るということ、その影響は計り知れないものです。

私はこの日、画面上の彼らを見てその事をいろいろと思ひ浮かべていたら、卒業しても彼らが気軽にクラブの例会に、顔を出して下さることを願わずにはいられません。そのような若い人が立ち寄りたくなるクラブ作りに、私達も努めていきたいと思いました。

### ユース事業報告

ユース担当 長谷川あや子

2020年度、中央大学の授業はオンラインとなり、学生のクラブの対外的活動は禁止の状況だったため、中央大学YMCAひつじぐもと東京八王子クラブとの交流は例年のように(八王子クラブ例会参加、新入生歓迎草刈り、クリスマス、街頭募金、チャリティコンサートなど)出来ませんでした。しかし、何とか八王子クラブの例会に参加して頂きたいと思ひ、秋からはハイブリッドや ZOOM での例会に挑戦し、中大ひつじぐもの ZOOM 参加を得ました。

又、毎月、「中大ひつじぐも便り」としてブリテンに寄稿して頂いています。

月	例会	卓話	中大生
10月	ハイブリッド	「種と野菜の話をしよう」	2名
11月	ハイブリッド	「球磨村災害支援報告」	2名
3月	ZOOM	「東日本大震災から10年」	1名

#### 特記

中大学Yひつじぐも追い出しコンパ(ZOOM)に東京八王子クラブから5名参加。

顧問の先生、中大学YのOB会である白羊会、東京八王子クラブ、今春の卒業生、現役生、合計25人くらいの人が集まりました。以前ユースコンボケーションに参加した人とも久しぶりに再会し喜び合いました。

1時間30分の ZOOM コンパでしたが、プログラムもきちんと組まれ、現在のコロナ禍での活動報告の時間もあり、大変充実した内容でした。新入生を12名獲得できたという報告もありました。

## 中大ひつじぐも便り

ひつじぐも ワイズ係 渡辺伊純

桜の花も咲きそろい心躍る頃となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

先月は、オンライン例会にお招きいただき誠にありがとうございました。東日本大震災から10年の節目を迎えた今年に、再び災害の恐ろしさや防災の大切さを改めて認識させられたとても素晴らしい例会でした。東日本大震災が発生した当時、私は小学4年生でした。下校途中、サイレンが鳴り響いており、友達たちと不安の中、帰宅したことを今でも鮮明に覚えています。ニュースで見る被災地の悲惨な状況に衝撃と恐怖を感じました。私の実家、徳島県も南海トラフ地震では甚大な被害が予想されています。防災グッズの確認、ハザードマップ、避難場所の確認をもう一度家族全員で話し合いたいと思います。最近、日本各地で地震が多発しています。いつ、どこで災害が起こるか分かりませんが、防災の正しい知識を持っていれば速やかに対応し、安全な行動をとれるようになると思います。災害、防災についてもっと調べ、大切な命を守るように知識を深めたいです。

さてひつじぐもは、3月の下旬からオンライン新歓を行いました。パワーポイントを使い、サークル紹介を行った後は学部別に分かれて交流会を行いました。履修相談や、授業の雰囲気、内容などを新入生たちに紹介しました。新入生は、大学の授業への意欲がとて高く、感心しました。4月からも、対面でのサークル活動は制限されておりオンラインでの活動が原則となっています。これからは対面活動にこだわらず、オンラインで行える活動を始めていきたいと思っています。

新型コロナウイルスの第4波が懸念されております。皆さま、くれぐれもご自愛ください。

## 東京 YMCA 便り

東京 YMCA 所長 中里 敦

◆桜の美しさも過ぎ去り新年度を迎えました。今年度東京YMCAでは5人の新しい職員を迎えることができました。コロナ禍の中でも次世代のYMCAを担う職員を得られたことは本当に感謝です。新入職員に研修する機会が与えられたのですが、緊張感が伝わってきて自分自身初心に返った気持ちになりました。入職した時の夢や希望を忘れず、スタッフとして成長してほしいと願うばかりです。

◆東日本大震災から10年を迎える今年、東京YMCAでも3月6日に『東日本大震災10周年礼拝』のオンライン開催と、多くの人に震災を忘れてほしくないとの願いを込めて『福島パネル展』を東陽町会館で3月1日から6日で開催しました。10周年礼拝は45名の参加者で震災の14時46分に合わせて黙祷の後、第一部は、成増キリスト教会の飯岡洋介牧師より「隣人を自分のように愛す」と題しメッセージをいただきました。第二部は震災を振り返る時を持ち、改めて復興途上であることや風化させてはいけないと改めて考えさせられました。

◆久しぶりとなる宿泊を伴うキャンプが年度末に実施されました。エンジョイ&チャレンジスキーキャンプ(小学生対象)が19名、ユーススキーキャンプ(中高生対象)が20名の参加者で志賀高原で行われ、久しぶりのスキーを満喫しました。東山荘ネイチャーキャンプは28名の参加者で、東山荘で宿泊し富士山の散歩を楽しむなど自然の中で楽しんでいました。久しぶりの宿泊キャンプでしたが密を避けるために定員を少なくしたり、感染予防対策を十分に取ながらでしたが、実施できたことは参加者にとって良き思い出となりました。

<東京YMCA主な行事予定>

・会員大会：5月22日(土)午後を予定

《※詳細は後日お知らせします。》

今月の聖句によせて (2021年4月)

今年のイースターは4月4日です。一面の今月の聖句は、聖書の中で、このイースターの出来事を伝える箇所となっています。キリスト教会の行事のなかで、とくに大きなものとして知られているのは、クリスマスとイースターでしょう。この二つの行事は、イエス・キリストの生涯の重要な点を示しています。イエスの誕生を表しているクリスマスは、私たち人間と連帯し、人間として苦楽を共にされ、人間として悲慘を味わって下さる、神の子キリストの誕生を祝う時ですが、その正しい意味においてかどうかは別として、多くのひとに知られ、祝われています。他方、十字架上の死をとげたイエスの復活を表すイースターは、クリスマスほどには祝われることもなくまた、意識されることもないように思います。しかし、キリスト教において、イエスの十字架上の死と復活、イースターは、いわば、クリスマスの意味とその後の生涯を完成させることにつながり、なによりも大切な意味を持っています。このため、より多くのひとにこのイースターについて知っていただければ、幸いと思っています。

並木信一

## 高尾わくわくビレッジ便

高尾わくわくビレッジ館長 菅野牧夫

桜の花が満開になりました。学生時代YMCAのキャンプにリーダーで参加していた頃、春キャンプから帰ってくる町に桜が咲き始めていて、キャンプの別れを演出していました。桜を見るといつもそんなことを懐かしく思い出します。少し花の咲く季節が早まっているように感じます。温暖化の影響なのでしょうか。

東京都と定期的なわくわくビレッジ運営についての報告会を持っていますが、前回の会議の席で、「わくわくビレッジには桜の花があるか」「花見客が集中しないように注意をしてくれ」という注意喚起がされました。人がたくさん集まってしまうことも不安ですが、お客さんが全然来なくなってしまうことも問題で、塩梅が難しいなあと思っています。

3月は年度の切り替えですが、今年度の宿泊累計人数は5,600人を下回る結果となってしまいました。2010年度からの年間累計人数の平均が33,500名弱になることを考えると、通常の6分の1の人数です。新年度の予約も4月、5月を中心にキャンセルが増えてきています。2021年度も新型コロナウイルスの影響は残りそうです。

新型コロナウイルスのワクチン接種が医療関係者を中心に始まりました。わくわくビレッジも近いうちにワクチン接種の会場になります。高齢者のワクチン接種の普及に貢献してまいります。できるだけ早く一般の皆さんにも接種が進み、新型コロナウイルスが普通の風邪と同じ位の危険度と感じられる日が来ることを望んでいます。この1年間で失われた人と人とのつながりやふれあいを回復するための要素がわくわくビレッジにはたくさんあると思います。それらの要素をアピールして利用者の心の健康を取り戻していこうと考えています。



高尾村

## 今月の例会報告 3月度

〈報告〉

### 2021年3月第一例会(ZOOM例会)

日時:2021年3月13日(土)18:00~20:00

卓話「東日本大震災から10年」

清水弘一氏(石巻広域クラブ)

出席:久保田・小口・中里・並木信一・並木真

花輪・長谷川・福田・茂木・山本(10名)

メネット:久保田メネ・並木信一メネ(2名)

ゲスト:奈良昭彦・谷藤允恵・辻市晶子

ひつじぐも:渡辺伊純

ビジター:清水弘一(石巻広域)・大久保知宏

(宇都宮)・藤井寛敏(東京江東)・衣笠輝夫(埼玉)・佐藤茂美

(東京)・田中博之(東京多摩みなみ)・菰渕光彦(東京サンライズ)

・原俊彦・原淑子(富士五湖)・古賀健一郎(横浜)・漆畑義彦

(富士)のみなさん 合計27名

### 2021年3月第二例会

日時:2021年3月27日(土)18:00~19:30

出席:久保田・小口・中里・並木信一・花輪・

長谷川・福田・茂木・山本(9名)

〈協議〉

・2021-22年度クラブ役員体制

会長—山本英次 副会長—茂木稔

書記—花輪宗命 会計—小口多津子

※チャリティコンサート—来年は開催したい。

実行委員長—久保田貞視

・2021-22年度あずさ部行事予定

部大会—10月16日(土)

評議会—7月17日、2022年2月12日、2022年5月14日

(今後の予定)

北野市民センター会議室の使用も検討する。



## 4月の誕生のメンバー

久保田貞視さん 4月8日